

ナタネ粕の飼料化（採卵鶏）

畜産研究所

青森県横浜町では、**キザキノナタネ**という品種のナタネを栽培しており、生産されたナタネ油は全国的にも有名です。ナタネ油圧搾時には、副産物として**ナタネ粕**が産出されます。そのナタネ粕を採卵鶏に給与することを目的として、飼料化を実施しましたので、内容を紹介します。

ナタネ油生産現場



圧搾



精製



ナタネ油



ナタネ粕

飼料調整

ナタネ粕には**グルコシノレート**が含まれており、鶏に給与すると生体内で加水分解され、生成されたゴイトリンは甲状腺ホルモンの生成を阻害します。そこで、グルコシノレート含量を低減させるため、ナタネ粕の湿潤処理を行った後に乾燥させてナタネ粕飼料を調製しました。



ナタネ粕



湿潤処理

120℃ 30分
(オートクレーブ使用)



乾燥

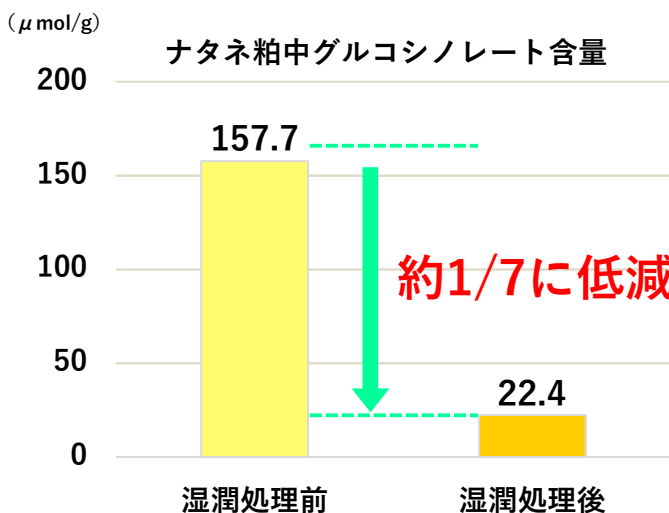
45℃ 12時間



ナタネ粕飼料



配合飼料に添加後、
採卵鶏へ給与



実施中

湿潤処理の簡易化
ナタネ粕飼料中の機能性成分分析

県産ナタネ粕飼料使用
卵黄中機能性成分含量の増加

→ 鶏卵の高付加価値化

お問い合わせ

畜産研究所 中小家畜・シヤモロック部
(Tel 0175-64-2790)

あおもりの未来、
技術でサポート

